



社協だより

平成27年 1月

第36号

編集発行／社会福祉法人 草津町社会福祉協議会

〒377-1711 草津町大字草津464番地28 草津町総合保健福祉センター内

TEL：0279-88-1050 FAX：0279-88-1055

E-mail kusasyakyo@song.ocn.ne.jp

HP <http://www1.ocn.ne.jp/~gkusasya>

日本テレビ24時間テレビ様より福祉車両を贈呈していただきました。



公益社団法人24時間テレビチャリティ委員会様より選考の上、車椅子用スロープ付車両を贈呈していただきました。この車両は主にデイサービス送迎用車両として活用させていただきますが、その他にも多方面で活躍してもらえらるものと思います。

24時間テレビのシンボルである「地球マーク」が大きく配置されたデザインとなっています。

平成26年度

赤い羽根共同募金配分金事業で雪かきスコップ等をお届けしました。

贈呈先



行政15区



草津小学校



草津中学校



あおぞら保育園



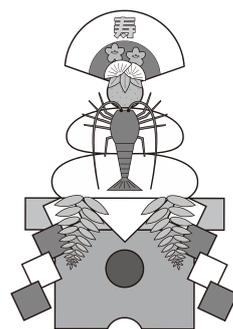
光泉幼稚園

- ①ポリスコップ
- ②ハンドラッセル
- ③アルミスコップ

ご活用くださいますようお願いいたします。

赤い羽根共同募金は皆様に還元されます。
今後とも赤い羽根共同募金にご協力お願いいたします。

新年明けまして おめでとうございませす



町民の皆様におかれましては、新年を迎えますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当社会福祉協議会に對しまして、多大なるご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は大雨による土砂災害や御嶽山の噴火など自然災害が多く見られ、自然の脅威を改めて感じる年となりました。

また、災害時における様々な支援の大切さを実感させていただきました。

社会に目を向けてみますと、超高齢社会を迎え、社会保障制度の見直しや、福祉関係法令の改正など福祉を取り巻く環境の変化が目前に迫っておりますが、町が提唱しております「福祉と観光のまちづくり」に向け、当社会福祉協議会も町民の皆様とともに福祉サービスの向上に努めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成二十七年 一月

草津町社会福祉協議会

会長 宮脇 宏

草津町やすらぎ福祉大会を開催しました

平成26年10月7日（火） 草津白根観光ホテル櫻井

第1部式典では、金婚者表彰が行われ、ミヤマ写真館様のご厚意で、5組のご夫妻が笑顔で記念写真の撮影をされました。また、社会福祉に功績のあった方々に表彰及び感謝状の伝達が行われました。第2部では、群馬県立障害者リハビリテーションセンター 専門員 山田 宏様を講師にお迎えして、「高齢化社会と介護問題」と題して講話をいただき、身近な問題としてみなさん真剣に傾聴されていました。続いて、羽根尾ハーモニカクラブによる演奏では、澄んだ音色を懐かしみ、みなさん一緒に口ずさんでおられました。



敬老祝い事業

平成26年9月10日（水）町内全域

年寿者（88・99歳）及び85歳以上の高齢者の方々へ、ご協力いただいた民生委員及び社協役員等でお祝いの品等をお届けいたしました。

皆さま おめでとうございます。いつまでもお元気でお過ごしください。



草津町戦没者追悼式

平成26年9月30日（火）

草津町公園墓地忠霊塔において戦没者追悼式を無宗教の献花方式により行いました。「国民の遺書100選」の中から2編を朗読し、79名の参列者全員で、献花を行い草津町出身の117柱の英霊のご冥福と恒久平和を祈念しました。



平成26年度群馬県社会福祉大会

11月10日（月）

前橋市民文化会館 大ホール

～未来へつなぐ助け合いの仕組みづくり～

群馬県知事表彰

○社会福祉施設従事者

山本洋子様

群馬県社会福祉協議会会長表彰

○社会福祉施設及び団体役員功労者

飯山和子様

市川君江様

関川卷子様

幾島勝三様

小寺忠子様

山口恒子様

○社会福祉協議会役職員功労者

市川良一様

表彰者の皆様、

おめでとうございます。

平成26年
12月1日
～31日



歳末たすけあい運動

（歳末慰問事業）

運動期間中、皆様からいただきました温かいお気持ちは、歳末慰問として、民生委員のご協力もいただき、80歳以上のひとり暮らし高齢者や施設に入所されている方々に、慰問金品をお届けする事業に使わせていただきました。

新しい年が皆様にとりまして良い年でありますよう。

理事及び監事並びに評議員研修会

平成26年10月17日(金) 草津町総合保健福祉センター

施設見学としてデイサービスやいきいきプラザ・子育てひろばを見学し、続いて群馬県社会福祉協議会地域福祉課長 中越信一様を講師にお迎えして、「社会福祉協議会が進める地域福祉活動」と題して講話をいただきました。みなさん真剣に傾聴されていました。



社協職員災害対応研修

平成26年10月30日(木)
草津町総合保健福祉センター



災害時は被災者支援と共に災害ボランティアセンターの立ち上げを協議する等、短時間で多くの調整や判断を迫られることとなり、社協としてどのような対応ができるかについて職員同士で意見を出し合い、理解を深めました。

草津町福祉施設職員研修

平成26年10月31日(金)
草津町総合保健福祉センター

福祉施設職員研修会を実施しました。講師は群馬県立障害者リハビリテーションセンター専門員の山田宏様をお招きし「福祉施設職員としての心構え」というタイトルで講話をいただきました。近隣施設も含めて、20名余りの参加をいただきました。

大変わかりやすい講話内容で、参加者は真剣にメモをとったり、多くの方がうなずいたりと懸命に耳を傾けている様子でした。講話後「とても勉強になった」「また聞きたい」と大変好評でした。



群馬・埼玉・新潟 社協職員情報交換研修会

平成26年11月15日(土)
草津町総合保健福祉センター



3県より多くの社協職員が草津町に集まり、各社協における業務取組内容の情報交換会、楽泉園視察研修を行いました。重監房資料館・社会交流会館の視察やハンセン病との向き合い方など、社会福祉を担う多くの社協職員にとって、非常に学ぶことの多い内容となりました。楽泉園ガイドボランティア様にもご尽力をいただきありがとうございました。

視察終了後、会場を保健センターに移し情報交換会を開催。業務の進め方において非常に学ぶことが多く、今後生かしていく必要があると感じました。



ボランティア活動をしてみませんか

東日本大震災や広島大雨災害、御嶽山の噴火など、大規模な災害

が起きるたびに、ボランティアが活躍しボランティアの存在がクローズアップされています。こういった事例がボランティア人口や活動の広がりや契機にもなっています。

しかし、ボランティア活動は、災害時だけでなく身近な地域で行う事ができる活動も非常に多く、できる時にできることを無理なく続けることがボランティア活動の中で非常に重要な事です。定年退職された方や子供が成長され手が離れた方など、何か地域社会との関わりを持ちたいと思っている皆様、ボランティア活動を気軽に始めてみてはいかがでしょうか。



―当社協の役割―

当社協ではボランティア活動を推進するため、様々なお手伝いをしています。

1、登録、相談、紹介

ボランティア団体の登録や、活動希望者の相談、活動先のコーディネートやマッチングを行っています。

2、広報、啓発、情報提供

ボランティア活動に必要な情報の提供を行います。

3、養成、研修

ボランティアに関する養成講座や研修を行います。

4、関係機関との連絡調整

各種団体との連絡調整を行います。

5、機材貸出

ボランティア活動に必要な機材の貸し出しを行います。

―気軽に相談を―

「ボランティア活動を始めたいが、何をどうすればよいかかわからない」「ボランティアの応援を求めたいが、何をすればよいかわからない」など、そのような時は当社協へご相談ください。少しでもそんなお悩みを解決できるようなお力添えをさせていただきます。



―活動までの流れ―
だければと考えています。

○当社協へ相談

社会福祉協議会窓口にて、ご希望の活動内容、場所、日時等をお伺いし、それを基に情報の提供や活動先を紹介いたします。

○ボランティア登録をする

活動先を紹介する場合は、ボランティア登録をしていただきます。その際に、ボランティア活動をするにあたり、気を付けていただきたい内容や安心して活動ができるようボランティア保険のご案内等もさせていただきます。なお、保険は全国共通で数百円で加入できます。

○活動開始

活動受け入れ先が決定しましたら、事前に日程調整を行い活動を開始します。活動開始後も疑問なことや不安なことは当社協へ遠慮なくご相談ください。

ボランティア育成事業

平成26年11月19日(水)・20日(木)
「傾聴ボランティア講習会」

草津・長野原・嬭恋・中之条社協合同で実施されました。

傾聴ボランティアを続けるには研修が欠かせません。今年は東京福祉大学教授の原千恵子先生による講義とロールプレイング。

難しいケースについても皆さん楽しみながら実習されていました。



平成26年11月18日(火)
「活火山としての草津白根火山～その学術背景と災害」



東京工業大学講師であり草津白根山で観測をされている寺田暁彦講師による講義で多くの町民に参加していただきました。

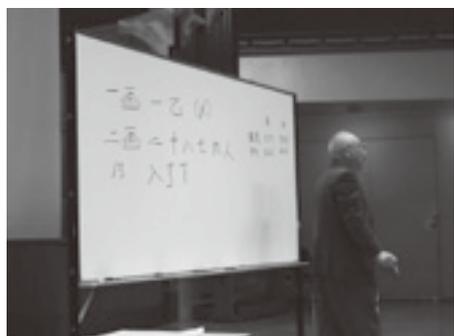
また、鈴蘭区にある観測所の見学は皆さん初めて、興味津々。熱心に館内を見学されていました。草津白根火山活動について理解していただいた貴重な講義でした。



草津町ふれあい・いきいきサロン通信2

ふれあい・いきいきサロンとは、高齢者や障害者、子育て中の親子等が「気軽に自由に集まれる場所」として全国各地で実施されています。また、身近な住民同士の「仲間づくり」や「出会いの場づくり」としても期待されています。それ以外にも、高齢者の閉じこもりを予防し、地域住民のSOSを早期発見できる「見守り・助け合い機能」としての役割を期待できる場でもあります。身近な地域で暮らす住民同士が集まって「おしゃべり」や「レクリエーション」などを楽しみながら、定期的な交流を通じて、心豊かな暮らしをお互いに支え合い、応援し合っていくサロン活動を、社会福祉協議会は推進しています。

平成26年度ふれあい・いきいきサロン研修会を開催いたしました。



10月20日(月)草津音楽の森国際コンサートホールにてふれあい・いきいきサロン研修会を開催いたしました。
当日は郡内各町村から多くのサロン関係者が集まり、盛大に執り行うことができました。内容は郡内の子育てサロン及び高齢者サロンの事例発表や東京都レクリエーション協会理事 飯田弘様を講師に招きレクリエーション研修を行いました。研修会内容を是非多くのサロンで活用していただければと思います。

町内で開催されているサロン活動を紹介させていただきます！

※2支部サロン

☆基本事項☆

- ・参加費200円徴収型・女性部による手作り昼食
- ・健康体操・脳トレの開催・欠席者への声掛けの徹底

☆開催内容☆

芋煮会・バーベキュー・健康体操・旅行・その他



手作りの昼食



健康体操



おいしそうですね♪

町内でサロンを開催したい地区を募集しています。何からはじめれば良いのかわからない、どんな内容がいいのかなど、ご相談があれば当社協にご連絡ください。サロンのお手伝いをさせていただきます。

サロンに関するお問い合わせ 草津町社会福祉協議会 ☎88-1050

生きがいづくり、仲間づくりなど 入りませんか草津町老人クラブ連合会

老人クラブは、高齢者が住み慣れた地域で、親しい仲間と共に生きがいのある毎日を過ごせるよう、12クラブによる部活動や春秋の研修旅行、友愛（タオル）訪問、盆用品販売、小学校1年生との昔遊びによる世代間交流活動等たくさんの事業を展開している団体です。特に毎朝「緑のジャンパーに帽子」でお馴染みの「児童安全守り隊」は奉仕活動の大きなもので、これら事業の全てを70代、80代の人達が担っています。



昭和38年結成以来、「半世紀」

昨年50周年を迎え、「健康・友愛・奉仕」の三大柱を目的に全国組織で活動しています。現在草津町では、会員数1,019人で活動をしており、若し新規入会者が少なく、老人クラブ内の高齢化が進んでいるという現状があります。**会員の増強を目指して**

県老連では、今年から5ヶ年計画で「100万人会員増強運動」を展開します。この機会に、多くの方の加入をお願いいたします。

レクリエーション・サロン活動の充実

健康づくり推進の為、各種運動部のスポーツ大会や文化部による練習や芸能発表会など楽しみ活動にも力を入れています。また各支部によるサロン活動（お茶飲み会）なども開催しており、脳トレや介護予防体操、昼食会など独居高齢者のより近い立場での見守り体制を充実できるよう力を入れています。



魅力的な老人クラブを目指して

これからも、住み慣れた地域で長年培った知識や経験能力を生かし、魅力的な老人クラブ活動ができるよう各種事業を実施します。

60歳以上の方で興味を持たれた方は、ぜひ地域の老人クラブ、また社会福祉協議会にお問い合わせください。

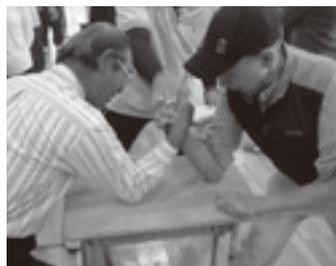


第36回吾妻郡身体障害者スポーツ大会を開催しました。 平成26年9月12日(金) 草津町総合体育館

郡内各町村より、147名の参加のもと、30メートル走やパン食い競走、綱引きなど7種にわたり熱戦が繰り広げられました。

草津町は綱引き3連覇を達成。参加した会員さん一同非常に喜んでいる様子でした。

また昼食時に婦人会の皆様による踊りの披露、食生活改善推進員さんのご協力による豚汁の提供をいただきました。ありがとうございました。



腕相撲



ボール送り



輪投げ



食生活改善推進員さん

ふくし トピックス



車椅子の貸出をしています。

草津社協及びボランティアサークルやす
らぎの会で所持している車椅子の貸出を行
っています。この車椅子は、町民の方から
観光で来町される方まで幅広く利用してい
ただけます。ご利用を希望される方は
草津町社会福祉協議会 ☎88-1050

賛助会費をお願いしています。

私たちの住む草津町の更なる地域福祉推進
のため、たくさんの方々のご支援ご協力が必
要です。この趣旨をご理解の上、ご加入ご協
力くださいますようお願い申し上げます。

賛助会費 ー□ 3,000円

特別会費 ー□ 10,000円

ご連絡いただけましたら、お伺いさせて
いただきます。

草津町社会福祉協議会 ☎88-1050

草津町赤十字奉仕団

平成26年11月11日 (火)



毎年行われる団員研修として、
今年度は東京墨田区にある「東京
消防庁防災館」に行ってきました。
ここでは、いろいろな災害の体験が
できる施設で、暴風雨体験や消火・
地震等5つの体験をしました。暴
風雨体験では、合羽を着て風速30
センチの雨風を体感し、地震では震度
7を体験しました。
全員が大震災を振
り返るとともに、
災害の恐ろしさを
改めて実感し、身
を守る訓練ができ
ました。

毎年行われる団員研修として、
今年度は東京墨田区にある「東京
消防庁防災館」に行ってきました。
ここでは、いろいろな災害の体験が
できる施設で、暴風雨体験や消火・
地震等5つの体験をしました。暴
風雨体験では、合羽を着て風速30
センチの雨風を体感し、地震では震度
7を体験しました。
全員が大震災を振
り返るとともに、
災害の恐ろしさを
改めて実感し、身
を守る訓練ができ
ました。

草寿会施設慰問

平成26年10月21日 (火)



草寿会は昭和62年より毎年郡内
の施設を慰問し、
にぎり寿司をプレ
ゼントされてきま
した。長年のご好
意に深く感謝申し
あげます。

今年も草津町の施設(3ヶ所)
を対象に、草寿会(草津町寿司組合)
の方たちによる施設慰問が行われ
ました。
普段お寿司屋さんへなかなか行
けない方もおり「にぎりたてのお
寿司は美味しいね」と大変喜ばれ
ていました。

母子寡婦ふれあい交流事業

平成26年12月8日 (月)



☆新規会員募集中
です。父子家庭の
参加もお待ちして
おります。
ご連絡は社会福
祉協議会までお願
いいたします。

(財団法人群馬県母子寡婦福祉協
会助成事業)
ホテル櫻井で開催され、母子3
組寡婦8名の参加があり親子で楽
しいひと時を過ごされました。
お母さんも日頃の忙しさから解
放され、お子さんの笑顔にほっと
一息された様子でした。

吾妻郡手をつなぐ育成会料理教室

平成26年11月14日 (金)



草津町総合保健福祉センターに
おいて吾妻郡手をつなぐ育成会
(西部地区3ヶ町村)の料理教室を
行いました。
にぎやかに楽しく料理ができ、
みんなでおいしい昼食をいただき
ました。

デイサービスセンターだより

紅葉見学&買い物ツアー

10月14日(火)にデイサービスで八ッ場道の駅に紅葉見学&買い物ツアーに行ってきました。

紅葉の見頃にはやや早かったものの、利用者の皆さんは色づき始めた山々を見て楽しんでいました。デイサービス利用者は普段一人で買い物に出る機会がほとんどない方もいるため、皆さん大変喜ばれていました。



避難訓練

12月8日(月)にデイサービス利用者と職員による避難訓練を実施しました。

デイサービスでは災害時、自力での避難が困難な方が多く利用されています。

災害時に利用者から被害者を出さないためには日頃の訓練が重要であるため、利用者様、職員ともに皆真剣に訓練に臨んでいました。



臨時職員募集

草津町社会福祉協議会では臨時職員を下記のとおり募集します。

- 職種・・・介護員（通所介護または訪問介護）若干名
- 資格・・・ホームヘルパー2級以上
- 年齢・・・60歳まで（65歳まで就労可）
- 勤務時間・・・午前8時30分～午後5時00分の間（6時間程度）
- 給与・待遇・・・時給 900円～ 社会保険加入
- 採用・・・随時

◆時間等については、ご相談ください。

◆応募方法 履歴書（写真貼付）・資格証明証（コピー）を下記へ送付、または窓口へ持参してください。書類選考後、試験・面接日を本人に連絡します。

社会福祉法人 草津町社会福祉協議会

〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津464-28
総合保健福祉センター内

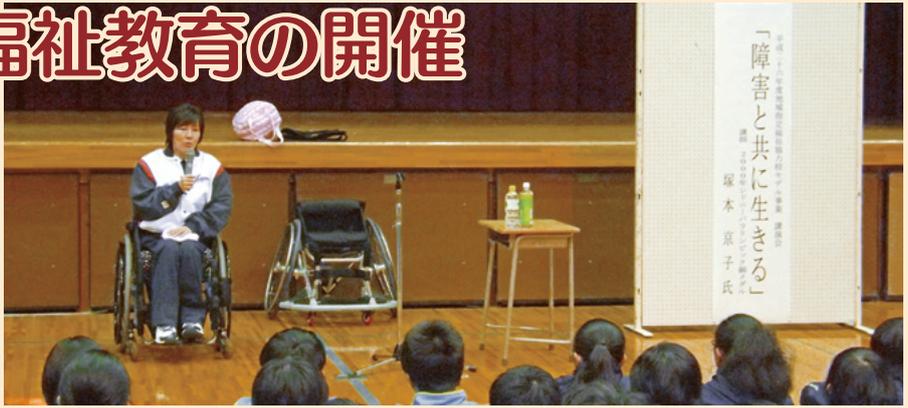
☎ 0279-88-1050 Fax 0279-88-1055

Eメール kusasyakyo@song.ocn.ne.jp

URL <http://www1.ocn.ne.jp/~gkusasya>

草津中学校福祉教育の開催

平成26年12月9日(火)
草津中学校体育館



シドニーパラリンピック車椅子バスケットメダリスト「塚本京子さん」を講師に招き、体験談をもとに講話をいただきました。

塚本さんは非常に前向きな方で、交通事故にあわれた後のリハビリの話や友人の大切さなどお話ししていただきました。また、障害に対して誇りをもって生活されていることがわかりました。

車椅子バスケットを体験させていただいたりメダルを全生徒に触らせてくださったり、非常に感動する内容となりました。

塚本京子さん、そして中学生のみなさんと小学5・6年生のみなさん、ありがとうございました。



エコキャップ回収通信

エコキャップ収集のご協力ありがとうございます。草津社協では、NPO法人エコキャップ推進協議会ECO-CAPとの協働で、エコキャップの回収を行っています。これはエコキャップのリサイクル活動に参加し、再資源化を図ることで環境や貧困などの課題について学び、行動することを目的とした事業です。エコキャップ860個でポリワクチン1人分を購入する事ができます。

実績 平成26年10月18日現在

* 累計個数1,882,428個

累計のCO₂ : 14,381.0kg (累計のキャップをゴミとして焼却すればこれだけの量のCO₂が発生することになります。)

* ワクチン 2,282.7人分

本年度よりプルタブ(アルミ缶)も回収しています。ご協力お願いします。平成26年10月1日現在 185kg(プルタブドラム缶8本分(800kg)で車椅子1台と交換できます)



ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

思いやり駐車場の利用について

群馬県が行う「思いやり駐車場利用制度」を受託し、利用証の交付を行っています。対象者に利用証を交付し、この制度に協力していただいている施設の思いやり駐車場(車いす使用者用駐車施設)に駐車する際に、自動車のルームミラーに利用証を掲示するものです。

利用証の対象となる方

- ・身体障害者の方(身体障害者手帳の等級により交付されます)
- ・知的障害者の方(療育手帳の障害の程度が「A」の方)
- ・精神障害者の方(精神障害者保健福祉手帳の等級判定「1級」の方)
- ・高齢者の方(介護認定を受けた方で要介護度1以上の方)
- ・難病患者の方(特定疾患医療受給者の方)
- ・妊産婦の方(妊娠7か月～産後6か月の方)



ご利用を希望される方は、

社会福祉協議会 ☎88-1050まで。